

「足立区生物園の教育利用研究会 の取り組みについて」

2025年1月11日
金井田 美友

教育利用研究会を発足するまで

幼稚園・保育園

園内・モルモットのふれあい



→専用の団体プログラムがない

小学校

園内・モルモットのふれあい

- ・クイズラリー
- ・チョウの一生など

学校・校庭の生きもの観察

- ・チョウの飼い方
- ・学校プールのヤゴ
- ・教員向け講習

中学校

園内・職場体験

- ・職場訪問
- ・見学（部活動など）



→キャリア教育がメイン

教育現場の意見を取り込みより良い利用ができるのでは？

教育利用研究会

幼稚園・保育園



幼稚園長

保育園長



大学教員



生物園スタッフ

小学校



教員



大学教員



生物園スタッフ

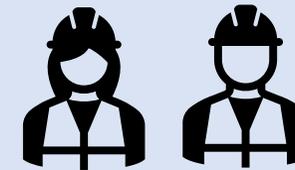
中学校



教員



大学教員



生物園スタッフ

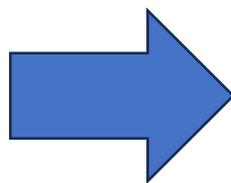
→会議を年間2回開催

幼稚園・保育園 プログラムの開発

幼稚園・保育園プログラムの開発

- ・保育士、幼稚園教諭は生きものについての専門性が低い。
- ・生物園で知ったことを園の活動にも活かしたい。

生物園の専門性
×
園に持ち帰れる体験



幼保向け団体プログラムの
開発

選べるショートプログラム

ウェルカム・見送り

生物園スタッフとの交流を通じて、生きものはもちろん幼保以外の人にも興味を持ってほしい。



- ・ 生物園のみどころ紹介
- ・ 見学のお約束
- ・ 生物園での疑問・質問
- ・ お別れのあいさつ

ごはんのじかん

生きものをじっくり観察し、興味を育み観察眼を養う。



生きもののふれあい

生きものに対する接し方を知り、生きものはもちろん、相手の気持ちを考える心を育む。



ごはんのじかん

導入 (2-3分)

- ・あいさつ・趣旨の説明
 - ・生きもの紹介
 - ・エサの紹介
 - ・ルール説明
- 整列方法・観察方法など



子どもたちの「発見の共有」
「なんだろう？」を心がける

展開 (5分)

食べる様子を観察

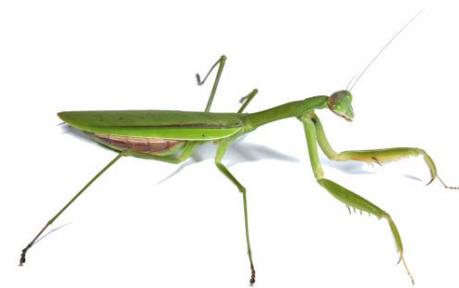
- ・エサをどうやって食べるのか
想像させてから実際に与える。



子どもの発言はなるべく一度肯定し、自由な発想を妨げない。

まとめ (2-3分)

- ・ふりかえりと感想の共有
- ・じっくり生きものを見ていると
様々な発見がある



生きもの

- ・カマキリ
- ・アカアシガメ
- ・ベルツノガエル
など

生きもののふれあい

導入 (2-3分)

- ・あいさつ・趣旨の説明
 - ・生きもの紹介
 - ・対象の気持ちを想像
- どうやってさわるべきか考える
- ・ルール説明 (整列など)



写真で紹介。
落ちついた状態でイメージを
膨らませる

展開 (10分)

ふれあい

- ・生きものの様子を伝え、
望ましいさわり方を促す



実施者は子どもの様子をよく
観察しながら実施。
発言を受け止める

まとめ (2-3分)

- ・ふりかえり・感想の共有
- ・生きものは気持ちよく過ごせたか？
- ・これからも生きものに優しく接して
欲しい。



生きもの

- ・アカアシガメ
- ・クロカタゾウムシ
- ・ボールパイソン
- ・ヒョウモントカゲモドキ
など

プログラム実施後の取り組み

持ち帰り資料

ふれあった生きものはどれかな？



くろかたそうむし
クロカタゾウムシ



もるもっと
モルモット



あかあしがめ
アカアシガメ



- ・2024年度からは「ウェルカム」「お見送り」「生きものふれあい」にしぼる
- ・ふれあいは「アカアシガメ」「モルモット」「クロカタゾウムシ」の3種

小学校

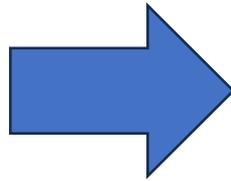
地域・農業と関連した授業

■ 小学校 地域・農業と関連した授業

・地域や農業の授業と関連できないか



身近な自然の変化と生きものの同士のつながりを考える



出張授業
「落ち葉で栄養たっぷりの土をつくらう」

出張授業「落ち葉で栄養たっぷりの土をつくろう」

ねらい

「腐葉土作りを通して、身近な生きもの
のつながりや自然界での役割を考える」

対象：栽培委員会の5-6年生

授業後も、その後の腐葉土づくりを通して
落ち葉の変化や現れる生きものを観察する。



出張授業「落ち葉で栄養たっぷりの土をつくろう」

校庭で落ち葉を集める



落ち葉と米ぬか、水を交互に入れる



月1回程度落ち葉をかき混ぜる

腐葉土づくり マニュアル

多くの学校に利用してもらいたい

対面授業が出来なくても
も実施したい

手軽に試したい

マニュアルの
作成

腐葉土づくり
～落ち葉から作ってみよう～

足立区生物園
教育利用研究会

腐葉土づくり マニュアル

【手順 (1年の流れ)】 ※10 ページ参照

落ち葉をこれから集める場合の1年の流れ

《春～夏》

適切な場所に木枠（または容器）を用意する

→風通しがよく涼しい場所。水はけの良い場所を選ぶ

《秋》

・腐葉土作り

・木箱（または

→米ぬかは

（ポリバ

→水は全体

（多すぎ

入れる

《秋～夏》

月に一回程度

乾いていたら、全体が湿るように

水をかける。

→「切り返しの作業」 ※9 ページ参照

葉っぱの形がなくなり、

色が黒っぽくなっていたら完成！

約半年～1年で出来上がる。



【子どもたちの気づき】



葉の種類によって、
腐葉土になる分解スピードが違う！

「腐葉土づくり～落ち葉から作ってみよう～」データ配布について

生物園では区内の教育施設や大学と連携し、教育利用を促進する取り組みを行う「教育利用研究会」という取り組みを行っています。

その成果の一部として、皆さまにご利用いただける腐葉土づくりマニュアルを公開いたします。

下記からダウンロードし、ご利用ください。

[腐葉土づくり～落ち葉から作ってみよう～ \(pdf\)](#)

[腐葉土づくり～落ち葉から作ってみよう～ \(word\)](#)



腐葉土を混ぜた畑の植物の育ちがいい！

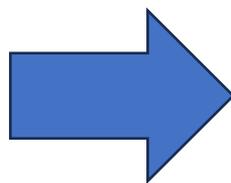
中学校
新たな生物園の活用

■ 中学校 新たな生物園の活用



- ・生物園に興味がある生徒もいるが部活や勉強で忙しくなかなか利用することができない。

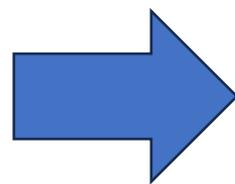
中学生の需要に合わせた
生物園の利用



- ・中学生ボランティア
- ・中学生向けプログラム
「大人の飼育員体験」
「解剖！イカの研究会」

中学生ボランティア

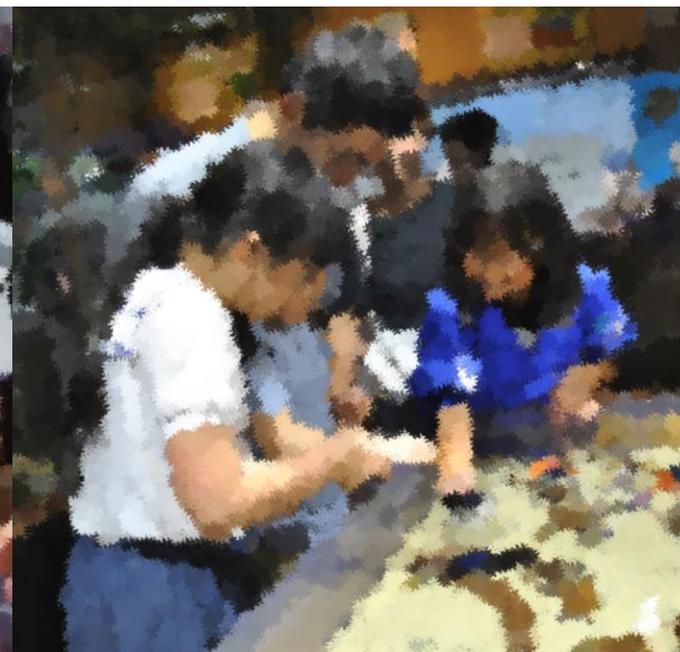
- ・「協力」「奉仕」「手伝い」に興味のある生徒が多い。



- ・学校の年間計画、部活動の休みがある期間などを先生から伺い生徒が来やすい日程を調整。

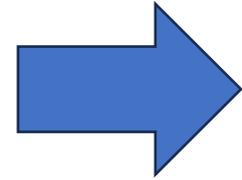
夏休み期間を利用したボランティア活動

タッチプールでの解説の補助



中学生向けプログラム①「大人の飼育員体験」

- ・ 実体験の提供。
- ・ 自らの体験を人に伝える力を伸ばす。



丸一日飼育業務を体験

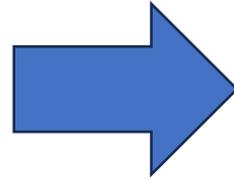
ねらい

「動物園水族館における社会的役割に関わる活動に興味を持ち、社会的役割について調べてみたり、行動するきっかけになる」



中学生向けプログラム②「解剖！イカの研究会」

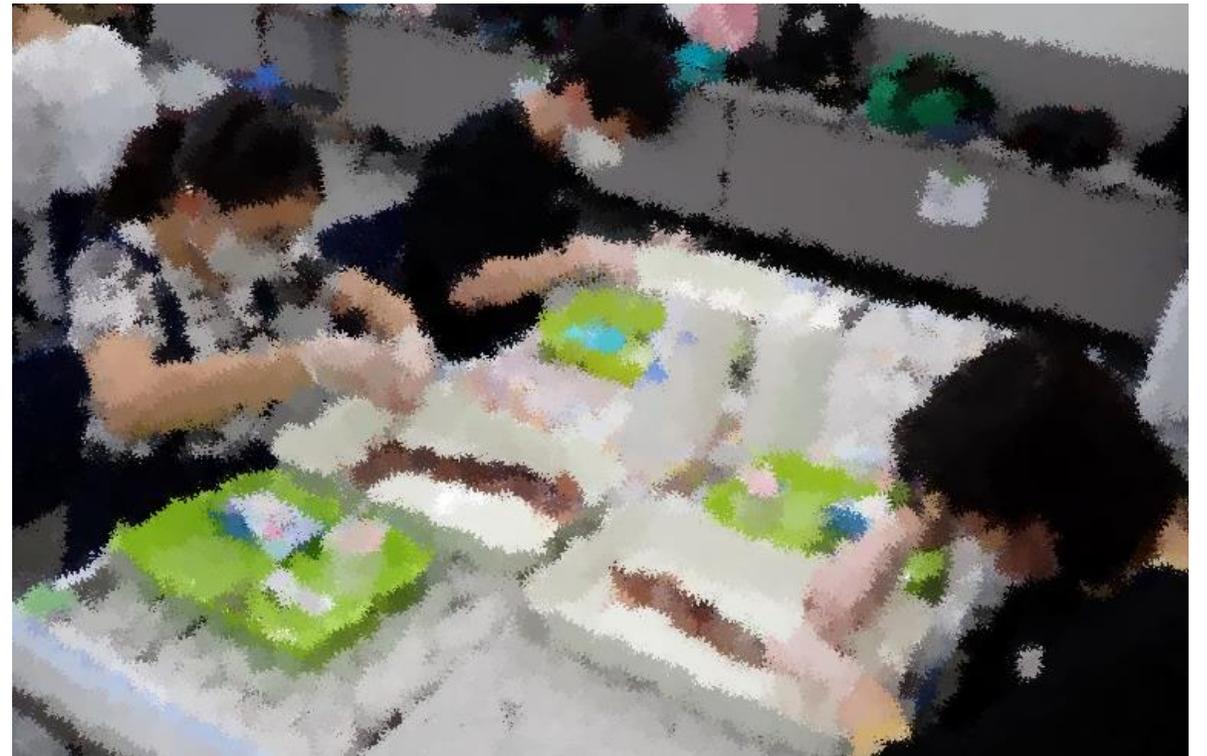
- ・理科授業で生体を用いた解剖が予算の関係で実施困難になっている。



スルメイカを用いた解剖実験

ねらい

「イカの解剖観察を通して、イカが生きていくために身につけた体の工夫を知り、生きものの生存戦略や形態に興味を持ち、生きものの観察意識を高める」



今後の取り組み

幼稚園保育園

公園を活用した団体対応

ティーチーズガイド



小学校

図書館との連携で学習のサポート



出張授業内容の見直し

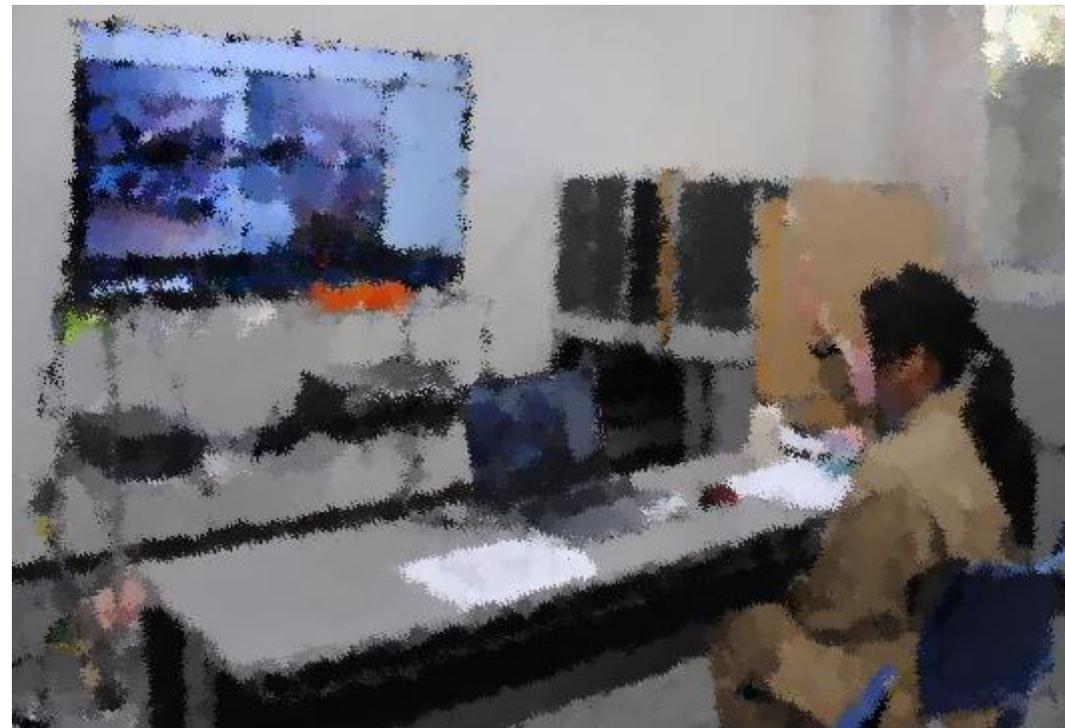


中学校

標本の貸出



オンライン授業対応





ご清聴ありがとうございました。

